

令和2年11月17日

各位

碧海信用金庫

令和2年度上半期経営報告会の開催、及び経営情報の開示について

碧海信用金庫(理事長:山内 正幸)は、令和2年11月17日(火)に「令和2年度上半期 経営報告会」を開催しましたので、お知らせいたします。

なお、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、インターネット(ユーチューブ)にて生配信いたしました。

当金庫は、今後も積極的な情報開示に努め、地域の皆さまに安心してお取引いただけるよう、努力してまいります。

記

1. 経営報告会の開催

(1)日 時

令和2年11月17日(火) 午前10時～午前10時40分

※総代、地方公共団体、商工会議所・商工会の方等へインターネット(ユーチューブ)にて生配信いたしました。

(2)場 所

当金庫 本店 3階大会議室

(3)内 容

経営報告	<ul style="list-style-type: none">・地域活性化への取り組みに関する報告・令和2年度上半期の業績に関する報告・対処すべき課題への対応状況
------	--

(4)その他

経営報告会に使用した資料は、ホームページ(<https://www.hekishin.jp/>)上でご覧いただけます。



2. 経営情報の開示

(1) 主要業績数値

(単位:百万円)

		令和2年9月期	令和元年9月期 (前年同期)	増減
預貸金状況	預金積金残高	2,228,043	2,124,349	+103,694 (+4.88%)
	貸出金残高	1,120,916	1,038,099	+82,817 (+7.97%)
損益状況	業務純益	3,275	3,002	+273 (+9.09%)
	経常利益	2,811	2,879	△68 (△2.38%)
	当期純利益	2,148	2,101	+46 (+2.21%)
健全性	自己資本比率(単体)	15.27%	15.59%	△0.32ポイント
	不良債権比率	2.82%	3.08%	△0.26ポイント

※単位未満切捨て表示。

※不良債権比率は金融再生法ベース。

(2) 業績コメント

〔預貸金状況〕

- 預金積金残高は、普通預金などが増加しました。
- 貸出金残高は、新型コロナウイルス関連融資などの事業者向け貸出が増加しました。

〔損益状況〕

- 株式等関係損益が減少しましたが、有価証券利息配当金の増加などにより、業務純益 3,275 百万円、経常利益 2,811 百万円、当期純利益 2,148 百万円となりました。

〔健全性〕

- 自己資本比率は、総資産の増加などの要因により前期末比 0.08 ポイント低下し、15.27%となりました。信用金庫に求められる国内基準(4%)を大幅に上回っています。
- 不良債権比率は、前期末比 0.19 ポイント低下し、2.82%となりました。

以上